



(写真：潮田家の飾られたお雛様 提供先：桜川市商工観光課)

今月の1枚

真壁のひなまつり

桜川市真壁町は、中世に真壁・大和地方を治めた真壁氏の居城・真壁城の城下町であり、この地方の文化・産業の中心地として栄えました。今から約400年前の江戸時代からほとんど変わらぬ町割に、重厚な蔵造の町屋や見世蔵、土蔵、洋風建築など約300棟が建ち並んでいます。その内99棟は、国の登録有形文化財に指定されています。2010年6月には、筑波山北麓に栄えたこの歴史的なまち並みが高く評価され、文化庁より茨城県で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

歴史情緒あふれるこのまちでは、自宅や店先にお雛様を飾る「真壁のひなまつり」が開催されます。期間は、毎年2月4日から3月3日の1ヶ月間です。昨年の来場客数は8万人を超え、まちを代表する行事の1つとなっています。

この催しの原点は、「寒い時期に、真壁に来る方々に対して“おもてなし”をしたい」という地域住民の想いでした。この想いは、和の文化・和む心・人の和を広げる“和の風”となり、まちを訪れる人々を優しく包み込んでいます。

本年は、13回目となる「真壁のひなまつり～和の風第十三章～」を迎えます。雛人形を展示する軒数は年々増加し、初年（2003年）の約40軒から150軒を超えるようになりました。

開催期間中は、お雛様の年代などが掲載された「雛めぐりマップ」が配布されます。また、真壁名物「うまかべすいとん」の試食会や人形浄瑠璃上演会など様々な催しが行われ、観光客を楽しませてくれます。折り紙で作った人形を川に流し無病息災を願う「和の風流し雛」は、真壁小学校の卒業記念行事にもなっています。

ご家族、ご友人と一緒に、華やかな雛人形と地域の方からの温かいおもてなしを楽しむことが出来る早春の真壁を訪れてみてはいかがでしょうか。
(筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ)



◆所在地：茨城県桜川市真壁町真壁地区内
 アクセス：【車】北関東自動車道 桜川筑西ICから国道50号～県道41号経由 約25分
 【駐車場】約320台（有料）